

花とみどりと笑顔

平成27年12月9日
上田市立北小学校
学校だより NO12

いじめ事案とその後の指導

～臨時全校集会で子どもたちと職員 共に考える（12/4〈金〉）～

先日、このことについての便りを出しました。「カッターやハサミなどで文字を『切り貼り』する形で、『死ね』『(必) 要がない人間だ』等が書かれた紙片を校舎内で児童が発見した件」です。本校では、この事実を、「いじめに関わる重大な事案で、緊急に対応していかなくてはならない」と捉え、指導をしてきました。幸い、当事者の勇気ある申し出により解決を見たわけですが、その指導の過程で、本校の児童の中に、「死ね」「きもい」「うざい」といった人権を損なうような言葉が日常的に使われてしまう言語環境があることがわかってきたことについてお知らせしました。

このことについて全校集会を開き、児童は勿論、職員も共に考える機会をとることに決め、12月4日（金）に行いました。

最初に、今回の事案についての経緯について係が説明をしました。その中で、全校に行ったアンケートの中で、正直に自分がしてしまったことについて書いた当事者の行動にふれ、「『怒られるかもしれない』という思いの中で、正直に書くことは難しい。してしまったことはよくないが、しっかり反省しようとしているところは立派」といった話がありました。



その後、「死ね」「きもい」「うざい」といった言葉の問題に触れ、「なくしていくためにはどうしたらいいだろうか」と全校の児童へ問いかけました。多くの児童が自分から発言してくれました。

1年児童「言うのを我慢する。」

「温かい言葉を言うようにする。『ありがとう』『こんにちは』『さようなら』とか、いっぱいある。」

4年児童「言われるようなことをしないように気を付ける。」

5年児童「友だちのいいところを見つける」

6年児童「悪い言葉を使っている友達を注意する。」

その後、6年生の各クラス代表から意見発表がありました。

1組 「悪い習慣に気付いた。直していきたい。」

2組 「最高学年として言っているいいことかいけないことか考える。」

3組 「(そういった言葉ではなく) 自分の思いをしっかり伝えたい。」

その後、3人の職員も、意見発表をしました。

「今まで、見過ごしている面があった。こういう言葉をなくし、『うれしい、楽しい』と思えるクラスで卒業していきたい。」(6の2 藤森)



『ふわふわ言葉』をたくさん使って『心の鏡』をきれいにしたい。そんな『ほかほか』の学校に。北小の人たちはできる。」(1の1 平沢)

「言葉には大きな力がある。『いい言葉』を増やしていくことで、いい学校にしていくことができる。」(4の1 高橋秋)

最後に学校長より、「真剣に話し合ってくれて本当にうれしい。こんなに真剣に考えてくれる皆さんや、先生方を私は大好き。皆さんは『宝物』。みんなの心、キラキラ輝け。みんなの命深く根差せ。みんな北小でよかったね。」と話し、集会を締めくくりました。

真剣に考え合って発言しあえたこと、児童も教師も「よくない言葉」をなくしていこうとする気持ちをもっていることを共有できたこと、そして、皆でそういうことを考えられる「北小」のよさを感じられたこと、急ではありましたが、とてもよい集会になりました。

今後も、本校では、「いじめは絶対許さない」「子どもたちはしっかり守る」という姿勢で、全校、全職員で取り組んでいきます。保護者や地域のみなさまにも一層のご理解とご協力をいただきながら、力を合わせて子どもたちのために進んでいきたいと考えておりますのでよろしくお願いします。



「人権教育」に取り組みました

～全校参観日・三中ブロック教職員人権同和教育研究会～

なかよし旬間(11/9～11/20)の中で、全校をあげて「人権教育」に取り組みました。「子どもたちが日常の生活を見つめ、人権尊重の視点から差別や偏見に気付き、互いに支え合い助け合いながらよりよい人間関係づくりができるようにする」ことを目的としていました。

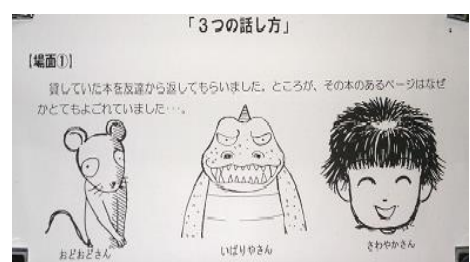
11/17(火)は、全校参観日でした。各学年、各クラスの実態から、「人権」に関わる学習の内容を決め出し、取り組みました。よりよい生き方に自分なりの「あこがれ」をもち、少しずつでも努力していこうとする前向きな姿が、どの学年の子どもたちからも感じられました。

4学年の子ども達の関わり方を見ていると、自分の言いたいことをなかなか伝えられない姿や、強い言い方になってしまったり、相手の言い分をなかなか聞けなかったりする姿が気になることがあります。そこで今回の授業では、「適切な自己表現」を題材として、よりよいコミュニケーションの仕方について考える時間を計画しました。

子どもにもわかりやすいように、非主張的な自己表現を「おどおどさん」、攻撃的な自己表現を「いばりやさん」、適切な自己表現を「さわやかさん」としてロールプレイを行いました。友だちとペアになり、3つの立場や相手役のロールプレイを行うことで、気づくことがたくさん出てきました。

友達とうまくコミュニケーションをとっていくために、自分も相手も大事にする「さわやかさん」に近づきたいと感じられた児童もたくさん見られました。

(「レッツ・ゴー4年生」No.29より)



11/25(水)は、三中、西小、北小の職員研修として、「三中ブロック教職員人権同和教育研究会」が本校を会場に行われました。低学年として3年3組が、高学年として6年2組が授業公開を行いました。

学級活動の「友だちの意見を聞いて考えよう」のねらいの下、友達が内緒で計画してくれた自分の誕生日会と、家族との約束の間で「帰るか帰らないか」迷う主人公の気持ちを考え、友達の意見を聞き合うことで、様々な考え方や理由があること、それらを聞くことで、自分の考えが変わったり、深まったり、よりはっきりしたりする学びのひとつときをもちました。

(6学年だより「進め☆6年」より)



グループで話し合う



11/11 校長講話 「バイキンマン」に自分の顔を食べさせてあげる「アンパンマン」のやさしさにふれての話でした。

11/17 人権教育講演会 「佐久ろろうあ太鼓」の皆さん



11/18 全校「ふれあい集会」

11/18 4学年福祉体験学習
中沢医さんを迎えて、「ブラインドサッカー」体験

また、11月17日(火)の学級懇談会では、人権教育にも関わる「自己肯定感(自己有用感、自尊感情…)」をどう育てていったらよいか、また、本校が、「課題」として大事にとらえている、メディアとの関わり方についても話題とさせていただきました。

学級PTAで「自尊感情をどう育てるか」について話題にしました。よさを褒めることは勿論ですが、「よかったわね」「ありがとう」「助かるわ」「いい考えね」など肯定的に共感することや、「それでいいのよ」とOKサインを出していくことが、自身や認められることよさにつながっていくように思います。結果や成果が見えなくても、努力や始めようとする姿勢を認めていくことも有効に感じます。(4の1たより「広場」より)

帰宅後の過ごし方では、ゲームやテレビ視聴について話がもたれました。特にゲームについては、持っているお家の方から、なかなか遊ぶ約束時間等を決めても守れない。友だちと一緒に遊ぶときもゲームをそれぞれしている…。逆にゲームを持たないお家の方からは、その時間を違うことに使っている具体的な話もありました。限られた帰宅後の時間をどのように有意義に過ごしたらいいのか。そんな時間の使い方を考えていけるのも学習と同じように大切な力だと実感した懇談会になりました。(3年3組 学級だより「元気」より)

全校一斉の参観日、懇談会ということもあり、多くのご家庭での様子について情報交換することまでは難しかったところもあるようです。子どもたちに「自分にはいいところがある」という実感をもたせていくこと、メディアとの関わり方を考え、家庭で生活・家庭学習の充実を目指していく

ことへの取り組みはこれで終わったわけではありません。常に課題意識をもち、継続することを大切にして子どもたちと接していくことで、少しずつ向上させていくべきものと考えます。今後も具体的な子どもたちの育ちの姿、よりよい「育て」のあり方を共有しながら共に歩んで参りましょう。(また折にふれ話題としていきます)

ハッピータイム企画「逃走中」(全校鬼ごっこ)

毎週水予備のお昼の時間は「ハッピータイム」、そうじなしの遊びの時間です。12月2日(水)は、職員の企画による「逃走中(全校鬼ごっこ)」が行われました。本校で考える「遊び」は、自主的自発的なものでありますので、この企画への参加も強制をするものではありませんでしたが、200人近い児童、職員が「自主的に」参加してくれました。



今日はハッピータイムがありました。今日は先生たちが企画してくれた「逃走中」をやりました。私が、コンテナ室のところに隠れていたたら、清澤先生が来たので、びっくりしました。そのまま逃げていたらつかまってしまいました。とてもスリルがあって面白かったです。でも少し怖かったです。とても楽しかったのでぜひまたやりたいです。(3年 日記)

今日はハッピータイムに逃走中をやりました。たまには外に出て鬼ごっこもいいかなと思ったのでやりました。

はじめ元気よく走ったせいで最後はヘトヘトになりました。また久しぶりに汗をいっぱいかきました。

また私が面白いと思ったのが先生たちのハンター変装ぶりです。まさかサングラスまでかけるとは…。ビックリでした。(6年 日記)

職員も多数参加し、子どもたちと楽しみました。子どもたちの体力にはついていけない、とこぼす職員もいました。

今回は職員の企画でしたが、次回以降、全校に対して呼びかけることができる掲示板を設置する等、「自主的自発的な児童の企画による遊び」もサポートしていきたいと思えます。

学校から

- ・ 今年度末～来年度早々での転出予定がありましたら、「可能性であって未定」ということも含めて担任にお知らせください。
- ・ 15日(火)より、個別懇談会が始まります。師走のご多用な中、時間を割いていただきありがとうございます。子どもたちにとって有意義な時間となりますように、職員一同準備を進めていますので、よろしく願い致します。
- ・ 長野県教育委員会、長野県PTA連合会及び県高等学校PTA連合会から、「インターネットの安全な利用に関する共同メッセージ」が発信されました。
共同メッセージは、「平成27年度インターネットについてのアンケート」の調査結果から、「保護者の認識以上に子どもが危機を長時間利用している」「機器の使用について保護者との約束事がないと回答した児童生徒の割合が高い」といった課題があるため、「機器の使用に関わるルールづくりを推進するために出されました。
つきましては、学校便りと同時に配布される共同メッセージをご一読いただき、「使い方のルール(掲示用)」の活用も含め、ご家庭で話し合ってみてください。